

# 文化財が物語る 蓮田の歴史

蓮田市は埋蔵文化財の宝庫といわれるほど、遺物が数多く発掘されています。発見された文化財一つひとつが地域固有の歴史と文化を物語る遺産であり、当時の人々の営みを知ることができるたいへん貴重なものでもあります。まちの長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に守り伝えられてきた貴重な文化財を年表とともに紹介します。

## 発見 ① まちに残る古墳群

市内では椿山遺跡(黒浜)やささら遺跡(馬込)、十三塚遺跡(関戸)など6世紀から7世紀末にかけて築造された古墳が発見されています。馬込八番遺跡(馬込)で確認された古墳からは、市内で初めての円筒埴輪が発見されています。



十三塚遺跡



円筒埴輪

## 発見 ② お宝ザックザク 国内最大級の埋蔵銭

新井堀の内遺跡から国内最大級の埋蔵銭が発見されました。埋蔵銭が納められた常滑焼のかめは、埋蔵銭のかめとしては国内最大級の大きさで、埋蔵量も国内最大級と想定されています。かめの中には墨で文字が記された木片が納められていました。埋蔵された目的は諸説あり、呪術的・宗教的な埋蔵物であるという説と、財産保全のために埋蔵されたという説があります。

□ 二 い 三  
□ 百 の □  
□ 六 と □  
□ 十 し □

木片から判明された文字



## 過去から受け継いできた誇れる財産!

## 発見 ③ ほほえみに魅せられて 円空仏

江戸時代の僧円空は、人々を苦しみから救うために旅をしながら数多くの仏像を日本中に残しています。彼の彫った仏像は円空仏と呼ばれ、一刀彫という荒い彫り方が特徴です。埼玉県には円空仏が数多く残っており、蓮田市からは県内で2番目に多く見つかっています。



### Cultural Assets That Speak of the History of Hasuda

So many artifacts have been unearthed in Hasuda City that today it is known as a treasure trove of buried cultural properties. Each discovered cultural asset is a legacy that speaks of the region's unique history and culture. Each discovery is extremely valuable for offering a way to learn about the lives of the many people who lived here from the past to the present. Here we introduce a chronology of these treasures born over the city's long history, cultivated, and passed on to the generations of today.

## 発見 ④ もうひとつの鉄道 武州鉄道

大正13年(1924年)、南埼玉郡綾瀬村(現蓮田市)の飯野喜四郎らが中心となり蓮田～岩槻間で開業した民間鉄道です。沿線の人々は蓮田駅で東北本線に乗り換え、大宮や東京に出かけていきました。その後、神根駅(現川口市)まで延伸しましたが、他路線との競合等により業績が悪化、昭和13年(1938年)に短い役目を終えました。蓮田駅東口側の中央公民館脇に線路の面影を見ることができます。



## 蓮田市歴史年表

2万年前	旧石器時代	市内各所に人々が住み始める
1万6000 ～ 2400年前	草創期	
	早期	市内に海が入り込む。黒浜・藤ノ木地区を中心に史跡黒浜貝塚をはじめ、綾瀬貝塚や関山貝塚など多くの貝塚が形成され、大きなムラができる(約6000～5000年前)
	前期	宿下遺跡(藤ノ木)や馬込八番遺跡(馬込)に大きなムラができる
	後期	雅楽谷遺跡(黒浜)に大きなムラができる
晩期	久台遺跡(東)に大きなムラができ、土偶なども残される	 仮面土偶      みみずく土偶
紀元前4世紀～	弥生時代	宿下遺跡(藤ノ木)に再葬墓が、久台遺跡(東)に方形周溝墓がつくられる
3世紀半ば～	古墳時代	発見 ① 市内で古墳がつくられる
710～	奈良時代	あらかわづけ 荒川附遺跡(関山)で鍛冶や土師器製造をする集落が生まれる
794～	平安時代	椿山遺跡(黒浜)の鍛冶集落が最盛期を迎える
1185～	鎌倉時代	江ヶ崎城が建造される 板石塔婆(寅子石)(馬込)が建立される(1311年)
1333～	南北朝時代	南朝銘の青石塔婆が建立される(1336年)
1338～	室町時代	発見 ② 埋蔵銭が発見された新井堀の内遺跡(黒浜)や井沼跡(井沼)など、市内各所に館が建造される
1573～	安土桃山時代	岩付城主太田氏房が真浄寺(黒浜)に制札を発する(1588年)
1603～	江戸時代	発見 ③ 円空が市内へ来訪し、仏像を残す 上関戸地区で式三番の舞が始まる(1704～1710年頃) 見沼代用水が完成する(1728年)
1868～	明治時代	平野村、綾瀬村、黒浜村が誕生する(1889年)
1912～	大正時代	発見 ④ 武州鉄道が営業を開始する(1924年)
1926～1989	昭和時代	綾瀬村が蓮田町となる(1934年) 妙楽寺(高虫)に疎開保育園が開設される(1944年) 蓮田町、黒浜村、平野村の3町村が合併し、蓮田町となる(1954年) 市制を施行し「蓮田市」となる(1972年10月1日)



発掘調査時の様子

